

2024年5月22日

住友化学株式会社

独自のPMMAケミカルリサイクル技術の社会実装をグローバルに加速 ～米大手技術ライセンサーのルーマス社と協業～

住友化学株式会社（以下、住友化学）は、このたび、米国の大手技術ライセンサーであるルーマス・テクノロジー社（以下、ルーマス社）と、当社独自の環境負荷低減技術であるアクリル樹脂（PMMA、ポリメチルメタクリレート）の高効率ケミカルリサイクル技術のライセンス供与・商業化に関する協業契約を締結しました。ルーマス社は当社技術に関し、独占的なライセンスパートナーになります。本協業により、商業化を加速させるとともに、グローバルなマーケティング展開により、世界各地での社会実装を目指します。



住友化学は、アクリル樹脂を熱分解し、原料となるMMA（メチルメタクリレート）モノマーに高効率で再生する技術を株式会社日本製鋼所（本社：東京都品川区）と共同開発しており、2022年12月に愛媛工場（愛媛県新居浜市）に実証設備を稼働させています。本技術で再生したモノマーは、化石資源を原料とした材料と同等の品質で、従来品と比べて製品ライフサイクル全体のGHG排出量を60%以上削減できる見込です。本技術は、25年度の商業化に向けた技術検証やマーケティング活動を先駆けて進めており、先般、本技術で製造したアクリル樹脂が、100%再生材としては、国内で初めてアクリルジュエリーに採用されるなど、着実に実績を積み上げています。

ルーマス社は高いマーケティング力およびエンジニアリング対応力があり、住友化学の革新的なPMMAケミカルリサイクル技術を、全世界のより多くの顧客に届けることが可能となります。なお、同社は、競争力の高いエチレン製造技術や、幅広いポリオレフィン製造技術を保有しており、当社技術と高い親和性があることから、当社が独自開発し確かな実績をもつ、低密度ポリエチレン/エチレンビニルアセテート（LDPE/EVA）製造技術においてもラ

イセンスに関する協業契約を締結いたします。

住友化学は、経営として取り組む重要課題の一つに環境負荷低減への貢献を掲げ、ケミカルリサイクルをはじめとするプラスチックの資源循環に取り組んでいます。当社の革新的技術において、ライセンス協業を活用することで事業機会の最大化を図り、世界的な課題である環境負荷低減に向けたソリューションを提供していきます。

ルーマス社 CEO の Leon de Bruyn 氏のコメント

今回の協業で、住友化学のポリオレフィン製造技術の先導性や運転安定性と、当社のグローバルマーケティング力およびライセンス事業の専門性が組み合わさることを、光栄に思います。当社は、使用済み素材を有効利用したリサイクルプロセスをスケールアップし、循環型社会において、協業による強みを生かすことに尽力します。また、取り扱う技術のラインアップが増えることで、多様な原料を最終ポリマー製品に変換する包括的なプラットフォームが整い、戦略的に顧客に提供していくことができるようになります。

ルーマス・テクノロジー社について

ルーマス社は、プロセス技術と価値創造型エネルギーソリューションプロバイダーです。現代の生活を支え、持続可能で低炭素な未来に焦点をあてた技術ソリューションの開発で世界をリードしています。クリーン燃料、再生可能エネルギー、石油化学、ポリマー、ガス処理技術のライセンス供与をはじめ、ライフサイクルサービス、触媒、専用機器、デジタル化技術を世界中のお客さまに提供しています。

ルーマス社ウェブサイト

www.LummusTechnology.com

以上

(ご参考)

住友化学ライセンスウェブサイト

<https://www.sumitomo-chem.co.jp/technology-licensing/>

